

復活前第1・受難節第6主日 礼拝順序

司式)  
奏楽)

家庭の礼拝では、※の箇所をとりいれて  
くださるようお勧めします。

前 奏

招 詞 申命記 30:15～16 司 式 者

讃 美 歌 9

※主の祈り

※詩編朗読 詩編 107:1～9

讃 美 歌 484

こどものためのお話と祈り 牧 師

※聖 書 ヨハネによる福音書 18:28～40  
(新共同訳 205 頁 / 口語訳 172 頁)

祈 禱

讃 美 歌 495

※使徒信条

説 教 「真理とは何か」 池迫直人牧師

祈 禱

※讃 美 歌 529 一 同

献 金 一 同

報 告 司 式 者

讃 美 歌 25 一 同

祝 禱 牧 師

後 奏

礼拝当番

音響

=本日および今週の礼拝・集会等=

※新型コロナウイルス対策のために会堂での礼  
拝他すべての行事を中止します。

※4/8(水) 祈り会はお休みします。

=今週の祈りの課題=

○主イエスは「わたしの国は、世に属していない」  
と言われました。十字架の苦難に進みゆか  
れる主イエスの歩みを、わたしたちの希望の  
よりどころであることを確かに祈りましょう。

○生田教会のつながりが、祈りによって豊か  
に育まれるよう、願い祈りましょう。

○石巻栄光教会(現住 16, 礼拝 11, 経常 240  
万円)を覚えて祈りましょう。

=今週の聖書日課=

4/6(月) ガラテヤ 6:11～18

4/7(火) ローマ 5:6～11

4/8(水) ローマ 5:12～21

4/9(木) エフェソ 2:11～22

4/10(金) コロサイ 1:18～23

4/11(土) 1ヨハネ 5:4～12

4/12(日) ヨハネ 20:1～18

=次週の礼拝=

※会堂での礼拝は行いません。以下をもって  
備えてくださるようお願い致します。

○主日礼拝2020年4月12日午前10:30

復活節第1主日

説 教 「見えないものを見る」

聖 書 ヨハネによる福音書 20:1～18

讃美歌 18,484,56,280,579,81,25

招 詞 申命記 1:31

詩篇交読 詩篇 11:1～7

献金のお願い

※新型コロナウイルスの感染予防のために会堂で  
の礼拝を中止していますが、個人、ご家  
庭での礼拝にて、献金の時をもってくださり、  
会堂礼拝を再開した折にお献ぎいただくよう、  
お願い致します。

=牧師室より=

\*4/7(火) 午前 農村伝道神学校

\*4/9(木) 午前 ”

※ 2020年度に入りましたが、引き続きウィル  
スの感染予防のために、会堂で行う礼拝を  
はじめすべての行事をとりやめています。

しかしこのような時には、教会の起源が  
思い起こされるよい機会でもあります。パウ  
ロの手紙などにある教会(聖書の言葉ギリシ  
ア語で) エクレシアとは、「(神に) 集められ  
た者たち」という意味で、信徒の家庭に集  
まる礼拝から始められたということです。教  
会につらなるすべての信徒をつなげ先行きを  
導く旅は、ただ賛美と祈り、聖書に聞く営み  
ともにあずかる食卓にあります。そこにすべ  
て教会の力の源泉があり、実務的なことは  
すべてここに根ざします。

ですから、定期総会を延期し、教会のす  
べての実務上の営みは、仮の執行となって  
いますが、皆さまの祈りが続けられて、再

会の時には、中止の前以上にわたしたちに  
力が満ちあふれている期待と、喜びの高ま  
りを覚えて、希望が確かにされています。

=説教要旨=

不要な外出を控え、コロナウイルスに関す  
るニュースを連日のように見聞きしている  
と、次第に閉塞感に覆われますが、気がつ  
かされることも多々あります。これまで立場  
上、礼拝に出席できない方々を訪ねる側でし  
たが、会堂の礼拝そのものが中止されると、  
今は、だれもみな会堂の礼拝に出席できな  
い人なのです。こんな状況ですから、メール、  
電話、そして会って話すること、ひとりひと  
りの存在の大切さを実感しています。同時に  
普段、まみえること、日常を当然のことだと、  
そのありがたさに気がつかされています。

弟子たちをはじめ、聖書の世界のひとたち  
もおなじです。だれひとり、主イエスの言葉  
を、十字架の死以前に実感をもって理解し納  
得することはできませんでした。しかしイエス  
さまの方は、違いました。「世に属していない」  
ところにおられるのです。弟子たちに理解で  
きなかつたならば、なおさら、民族、社会的  
立場も隔世の感がある総督ピラトが理解する  
ことはあり得ないでしょう。

しかしただひとつの可能性が 있습니다。そ  
れはイエスさまが証する「真理」です。この  
「真理」は「真実」とも訳され、ヨシュア記  
2:14 などにあるように、ひとが、その存在(命)  
をかけて明らかにされるものです。イエスさま  
は、生殺与奪の権力をもつ総督ピラトに向け  
られた、十字架の死を覚悟した言葉の力によ  
り、ピラトに道を示されました。